

デマンド監視・制御装置 IDMのENET(イーネット)接続方法

IDMの主装置に装着出来るLANアダプタが三菱電機(株)より新発売されました。このアダプタを取付、PLC(コンセント通信)を利用することで「デマンドの見える化」が配線工事なしで簡単に実現できます。

また、IDM表示・設定器で、USBメモリにデマンド・データが簡単に読み出せるようになりました。

<p>1. IDM主装置を取り付ける</p>  <p>IDM主装置をキュービクルの低圧配電盤に取り付ける。 ※単体はDINレールに取り付ける。</p>	<p>7. PLCと主装置をLANケーブルで接続する</p>  <p>主装置のENET接続アダプタとPLC親機をLANケーブルで接続する。</p>
<p>2. パルス・センサを接続する</p>  <p>取引用計器のC1, C2に接続されたジャンパー線にCTパルスセンサを取り付ける。 ※極性をLEDで確認する</p>	<p>8. デマンド表示器を設置する</p>  <p>デマンド表示器とPLC子機をLANケーブルで接続し、電源コードを事務所のコンセントに差し込む。</p>
<p>3. 電源コードを接続する</p>  <p>主装置の電源コードを100Vコンセントに接続し、IDM設定器の電源コネクタを主装置に接続する。</p>	<p>9. IDM設定器でデータを読み込む</p>  <p>USBメモリを装着したIDM設定器を主装置と接続し、事業所番号を設定してデマンドデータを読み出す。</p>
<p>4. IDM表示・設定器を接続する</p>  <p>IDM設定器の表示器コードを主装置のRS422コネクタに接続する。</p>	<p>10. IDMソフトを立ち上げる</p>  <p>データを読み込んだUSBメモリをパソコンに装着し、IDMソフトUSB/SD版を立ち上げる。</p>
<p>5. IDM設定器で主装置の各種設定をする</p>  <p>IDM設定器のタッチパネルで各種設定と時刻合わせをする。 ※変流比、方式、時限、時刻修正</p>	<p>11. IDMソフトで報告書を作成する</p>  <p>事業所番号などの初期設定をして事業所毎のファイルを作り、データの読出、グラフ化、報告書作成をする。</p>
<p>6. PLC親機(マスタ)を取り付ける</p>  <p>PLC親機をキュービクルの点検用コンセントに取り付ける。</p>	<p>《注意事項》</p> <p>PLC(電力線通信)は、同相のコンセントでないと通信できません。また、ノイズを出すパソコンが多かったり、50m以上距離がある場合は通信しにくくなります。</p>